



プロジェクト名称

## アジア学生とのサステナブル都市協働提案 8

プロジェクト活動概要

現在の東南アジア諸国は**急速な経済成長**による急激な発展の一方、都市基盤整備が追いつかず、かつて日本が経験したような**環境問題や公害**を引き起こしかねない状態です。本プロジェクトでは、東南アジアの学生と共に、上記のような都市インフラと環境に関する問題について議論し、学習効果を共有することが目的です。共に議論する学生はタイのバンコクに位置するアジア工科大学院大学(AIT)と昨年度から新たに加わるキングモンクット工科大学(KMUTT)です。

昨年度までは廃棄物系を行い今年度よりエネルギー系にテーマの変更を行いました。

そのため今年度は再生可能エネルギー、スマートハウス、発送電分離、化石燃料の4点に絞り、基礎的な知識を勉強会や施設見学などを通じて学んで行こうと考えております。



<AIT(上)での集合, KMUTT(下)でのWS>



活動状況報告 & 活動写真など 活動期間：2014 年 6 月 1 日～ 9 月 30 日

### ●勉強会(6 月 1 日～現時点)

私たちは再生可能エネルギーや原子力、火力、水力等の発電やそれに関わる燃料をテーマとして決め、そのテーマを各自が本やインターネットなどを用いて調べまわって、週 1 回のペースで発表を行いました。

各自がまとめることで基礎的な知識が定着すると同時に議論を行うことで知識を深めることができました。また、人に分かりやすく伝えるためにはどうしたら良いか等も学ぶことができたと感じています。



<勉強会の様子>

### ●磯子火力発電所(8 月 16 日)

J-POWER 磯子火力発電所という**世界最高水準の電力効率を誇る石炭火力発電所**に施設見学へ行きました。

磯子火力発電所は横浜市に建設されているためコンパクトかつ騒音や大気汚染といった公害に配慮しており、さらに横浜市の規定以上の敷地内緑化を行っています(約 20%)。

石炭火力は世界的に今後も主要な電力供給源になってくる為、IGCC,IGFC というような最新の技術も今後学んでいきたいと思っています。

また、今回の施設見学ではメンバー内で勉強会を行ったこともあり、見たことや聞いたことがすんなりと知識として定着させることが出来ました。



<施設見学の様子>



### ●新海面処分場(9月17日)

エネルギーとは少し離れますが、竹中工務店様の施設見学に参加し、新海面処分場の建設現場に行きました。新海面処分場は東京都で集めたゴミを捨てるための処分場であり、残り約50年で満杯になると言われています。

昨年度私たちは最終処分場に施設見学に行った際に、どのようにして最終処分場が出来ているのか非常に疑問に思ったことを思い出し、今回の施設見学に参加しました。

実際に新海面処分場の建設現場を見学した感想としては、**建設費4500億円**という金銭面も大事であると感じましたが、目の前にある建設予定地の広大な海に**数十年後、ゴミの山が出来ている**と考えた時にこのままではいけないと感じた事が最も印象的に覚えています。

昨年度は陸からゴミの山を見ていましたが今回は海上という別の視点からこの問題を見つめ直すことで理解がさらに深まると同時に**視点を変えることで別の考え方もできる事の大切さを実感することが出来ました。**



<施設見学の様子、開中の海>



### ●環境学生との交流会(9月12～15日)

環境に興味を持った学生が集まる交流会に参加してきました。

私たちの学生プロジェクトを多くの大学に紹介すると共に他大学の活動も知ることができ非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。

また、企業の方々の話を聞くことができ、**新たな考え方をつけることや繋がり**を作る事が出来ました。



<交流会の様子>

今後の活動計画、目標、意気込みなど

### ●今後の活動計画

10月～12月 OB・OG との勉強会 施設見学（茨城県エネルギーパーク、環境未来都市など）

1月～3月 渡航への準備

3月中旬 渡航

（この間、メンバー内での勉強会は引き続き行っていきます。）

### ●目標、意気込みなど

今年度も前期が終了し、未だ知識が大いに不足していると感じています。そのため後期は施設見学、勉強会を引き続き行いつつ、加えてOB・OGを招いて勉強会を行っていただき専門的かつ企業側からの視点で考えていこうと思います。

また、タイ渡航においてメンバー内で何を伝えに行くかを今後は常に考えつつ議論を行っていこうと思います。